

予算の使いみち



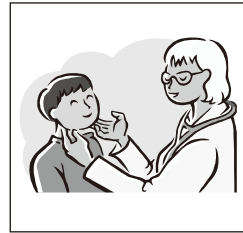
地域活性化

全国各地のまつりが関川村に集う「The MATSUR Iサミットin関川村」の開催経費に3000万円を計上。産業振興と人材育成を目的としています。

キラリと光る地域活性化補助金には700万円を計上。地域が元気になる起業や事業などを応援します。

9つのコミュニティへの補助金に260万円、集落で実施するセンターの改修や盆踊りやグラ整備への補助金に180万円をそれぞれ計上し、コミュニティと集落の活動を支援します。

今年で26回目を迎える大したもん蛇まつりへの補助金は、360万円としました。



子育て支援

少子化対策として、年間10万円を上限とした不妊治療補助金に150万円を計上。初期治療から支援できるように、要件を大幅に緩和しました。

妊婦一般健康診査には386万円を計上。安心して出産できるように全額助成しています。

子ども通院・入院医療費助成は、中学校卒業まで通院1回530円、5回目以降は無料、入院は1回12000円の自己負担とする制度継続に1600万円を計上しました。

予防接種の費用にも1600万円を計上し、予防対策に力を入れます。幼児の細菌性髄膜炎による障がい発症を予



教育環境の充実

防するヒブワクチン接種と、小児肺炎球菌接種費用の全額助成制度を継続。中学1年生女子を対象とした子宮けいがん予防ワクチン接種費全額助成も継続します。

小・中学校の通学費には、定期券代1258万円、臨時バス借上料110万円、スクールバス運行費1803万円をそれぞれ計上。外国語指導助手を含む教員助手の配置費には2440万を計上し、小・中学校合わせて13名を確保。県内でもトップクラスの指導体制で、きめ細かな教育環境の充実を図ります。

給食費は、3492万円を計上。放射性物質検査を継続し、提供する食材の安心安全を確保します。

村民会館外壁塗装工事に3500万円を計上。公民館2階トイレ改修工事に800



医療・福祉の充実

村民が安心できる地域医療体制を確保するため、平日夜間の急患診療（内科・小児科）を村上市に委託します。

また、村上総合病院の休日診療体制の補助金に159万円を計上しました。

高齢者が安心して健やかに暮らすことができるよう、在宅生活を支援する福祉サービスを継続します。

さらに、地域の茶の間事業や元気はつらつ事業など、介護予防対策の充実を図ります。各地区の老人クラブ補助金

万円を計上し、公共施設を長期的かつ安全に使用できるようにします。

部活動などで使用する、ふれあいどくむでは、全面芝改修工事として2814万円を計上、中学校柔剣道場のトイレ改修工事には190万円を計上しました。



産業の振興

に119万円、敬老会開催補助金に240万円をそれぞれ計上。社会福祉協議会への補助金は2377万円としました。

障がい者の社会参加を図ることを目的とした福祉タクシー助成金に113万円を計上。前年度から1人当たりの助成金を増額しています。

75歳以上の介護保険未利用者の方に対する商品券代として、330万円を計上しました。

水田利活用推進補助金には1300万円を計上。国の政策に注視しながら対応します。地産地消推進対策費には124万円を計上し、保育園、小学校、中学校への地元農産物の提供をはじめ、あいさい市利用促進事業として出荷手数料の5%を助成します。

農業農村整備事業費には6

03万円、県営土地改良事業負担金は692万円をそれぞれ計上し、土地改良事業の推進を図ります。

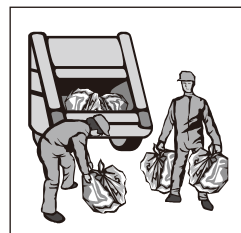
林業振興として、森林整備地域活動支援交付金をはじめ、国の政策と連動して総額2894万円の補助金を計上。間伐、作業路開設、高性能の林業機械を導入し、林業活性化を推進します。

商工会補助金として648万円、百縁笑店街事業経費として30万円をそれぞれ計上。経営支援事業をはじめ、空き店舗対策や地域商店街の活性化事業を支援します。また、村内消費拡大を目的としたプレミアム商品券発行事業に570万円を計上しました。

ゆくむの運営に6168万円、村有観光施設の管理費として5272万円をそれぞれ計上し、運営を管理公社に委託します。

わかぶな高原スキー場運営補助金として500万円を計上。駐車場の舗装や電気設備の更新工事として、1725

万円を計上しました。



生活環境衛生の確保

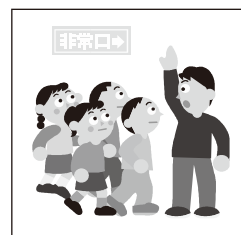
平成27年度稼働予定の村上市新ごみ処理場建設事業負担金を5846万円計上しました。

ごみ処理では、収集委託料に3726万円、村上市へのごみ処理運営費委託料に1960万円をそれぞれ計上。

汚水処理では、胎内市清掃センター委託料2336万円、下水道事業会計（公共下水道・農業集落排水事業）繰出金に3億2236万円をそれぞれ計上しました。

また、安心な飲料水を供給するため、水道事業会計に1750万円、簡易水道特別会計に1163万円をそれぞれ

繰出し、住民の生活環境衛生を確保します。



安心安全の確保

自主防災組織の推進と育成に60万円、要援護世帯への雪下ろし補助金に120万円、集落への除雪機械購入補助金に140万円をそれぞれ計上しました。

国の社会資本整備総合交付金を活用して、橋りょう長寿命化点検と修繕計画策定に1280万円、老朽化した消雪パイプ更新に2500万円、上野新中束線改良に3600万円をそれぞれ計上。村単独事業を含めた道路の改良や維持修繕、消雪パイプの更新、井戸新設などの事業費は、1億4630万円としました。各集落からの要望箇所を確認し、老朽化の程度や必要性の高い所に予算配分しています。近年の局地的豪雨による洪水対策として、住民が安全に

避難できるように、ハザードマップ作成費に400万円、豪雨による浸水被害の危険性が高い下関下町、松平、上川口集落の排水路改修工事に660万円をそれぞれ計上しました。

老朽化している消火栓の更新に2600万円を計上。今年度は九ヶ谷地区を更新します。

また、消防団運営費に2469万円、消防積載車2台購入に840万円をそれぞれ計上し、消防団活動を支援します。

除雪経費は、消雪パイプ電気料や修繕料、除雪委託料など1億686万円を計上しています。



暮らしの充実

住宅リフォーム（改修）の補助金を継続します。20万円以上の改修工事費に対し10%を補助（上限10万円）するもので、村内事業者への発注が条件となっています。

路線バス運行補助金には2050万円を計上。越後下関駅の業務委託料には582万円を計上しました。

戸籍電算化

2か年計画で戸籍電算化を行います。総額7000万円のうち、今年度は3520万円を計上しました。すでに全国の自治体の9割以上が導入しており、これによって、証明書等の交付に要する時間が大幅に短縮されます。

平成25年度当初予算の詳しい数値は、
村のホームページに掲載しています。
<http://www.vill.sekikawa.niigata.jp/>

関川村 財政

検索

